

信州産学官連携機構 (SIS) との 産学官交流会

in 松本 2017



参加
無料

日時:平成 29年 **10月12日** 木 12:30~19:00

会場:松本市 **Mウイング 6階ホール**

長野県ものづくり産業振興戦略プランの未来を拓く次世代産業として、健康・医療、環境・エネルギー、次世代交通等の3分野が掲げられる中、昨年度には、飯田下伊那地域での航空機産業の先進的取組みを全県へ波及させるよう、県航空機産業振興ビジョンが新たに策定される等、3分野に活発な動きがあります。

今回そうした技術に焦点を当てるとともに、県内大学等の幅広いシーズをご紹介し、また地域企業4社様の展示・プレゼンテーションに加え、ものづくり日本大賞等、数々の賞を受賞されているサン工業株式会社 川上社長様による特別講演を頂く、信州産学官連携機構 (SIS) との交流会を開催いたします。

今後の産学官連携に向けての情報交換の場として頂き、参加された皆様の新たな活動契機として頂きますよう、多くの方々の積極的なご参加をお勧めします。

SISは長野県内の大学・短期大学、高等専門学校等19校が連携し信州発のイノベーションに取り組んでいます

参加費 無料 但し、懇親交流会参加者は3000円当日ご持参願います。 **定員** 100名(先着順)

申込み 平成29年9月29日(金)締め切り
下記の参加申込書を使用してFAX、郵便、電子メールによりお申込ください。

対象者 経営者、管理者、技術者等

問合せ (公財)長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター
〒390-0852 松本市島立1020 松本合同庁舎内
電話:0263-40-1780/FAX:0263-47-3380
E-mail:alps@tech.or.jp 担当:鈴木、川手、牧垣

会場案内
Mウイング6階ホール

〒390-0811
長野県松本市中央1丁目18番1号
TEL:0263-32-1132



内容 講演内容、パネル展示の詳細は裏面の講演要旨をご参照下さい。

12:30~13:10

ポスターセッション パネル・製品展示コーナーにて見学

13:30~14:00

我が国の航空技術の動向と信州大学の活動について

信州大学 工学部 航空宇宙システム研究センター 教授
宇宙航空研究開発機構(JAXA) 航空技術部門 特任担当役 柳原 正明氏

14:00~14:30

着る歩行アシストロボット curara® NEW MODELの開発と展望

信州大学 繊維学部 機械・ロボット工学科 教授 橋本 稔氏

14:30~15:00

企業プレゼンテーション

ポスター展示各社様

15:10~15:40

地震に備える ~BCP策定に向けて~

長野工業高等専門学校 環境都市工学科 教授 古本 吉倫氏

15:40~16:10

劣駆動系の制御技術に立脚したパーソナルモビリティの開発

諏訪東京理科大学 機械工学科 教授 星野 祐氏

16:15~17:20

特別講演

金属表面処理のリーディングカンパニーを目指して

サン工業株式会社 代表取締役社長 川上 健夫氏

17:40~19:00

懇親交流会

会場 松本商工会館6階

講演講師・出展企業との名刺交換、質疑など交流を図る場として多くの皆様のご出席をお願いします。

主催 (公財)長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター **共催** 信州産学官連携機構、松本地域産学官連絡会、国立長野高専地域共同センター
後援 長野県松本地域振興局、松本市、塩尻市、安曇野市、松本商工会議所 **企画** アルプス広域コーディネーター連絡会

信州産学官連携機構との産学官交流会 in 松本 2017

(公財)長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター宛

参加申込書

FAX 0263-47-3380

E-mail alps@tech.or.jp

企業名		TEL	
所在地		FAX	
役職名	氏名	講演会参加	懇親交流会参加
		有・無	有・無
		有・無	有・無
		有・無	有・無
		有・無	有・無
		有・無	E-mail

※本申込書にご記入いただいた個人情報は、募集イベントの登録情報として利用するほか、(公財)長野県テクノ財団アルプスハイランド地域センターからの各種イベントのご案内の送付に用いるもので、他の用途へは一切使用しません。受講表は発行いたしませんので、お申し込み後事務局から特別のご連絡がない限り当日会場へお越しください。

講演要旨

13:30～14:00

我が国の航空技術の動向と信州大学の活動について

信州大学 工学部 航空宇宙システム研究センター 教授 柳原 正明氏
宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 航空技術部門 特任担当役

現在、我が国では航空機産業を自動車産業に続く基幹産業とすべく、その育成を図っているところです。中でも、航空機に搭載する装備品産業について、欧米に対して遅れが見られるため、その成長に注力しています。本講演では、前半で我が国の航空技術の現状について、世界の中での位置づけを含めて説明するとともに、航空技術に関連する国の施策のいくつかをご紹介します。続いて後半では、そのような背景の下、信州大学に本年4月に開設した「航空機システム共同研究講座」の概要と、そこでの人材育成及び研究開発について述べます。

14:00～14:30

着る歩行アシストロボットcurara® NEW MODELの開発と展望

信州大学 繊維学部 機械・ロボット工学科 教授 橋本 稔氏

超高齢社会を迎え、歩行に障害のある方々をアシストするロボット技術の需要は年々高まっており、一部の製品が医療機器認定を受けるなど、ロボットはリハビリや介護に欠かせないアイテムになっています。信州大学繊維学部は2011年より、地域企業とのプロジェクトにより、「着るロボット」と呼ばれる歩行アシストロボットcurara® (クララ)を開発、2015年には新たに「穿くロボット」として衣服一体モデルとなるcurara® パンツタイプを開発してきました。本講演では、今年9月に発表するcurara® NEW MODELについて紹介するとともに、今後の展望について述べます。

15:10～15:40

地震に備える ～BCP策定に向けて～

長野工業高等専門学校 環境都市工学科 教授 古本 吉倫氏

国や県による地震被害想定では、将来30年程度を目安にその地域において最大・最悪の大規模地震(M7以上)の発生に備えています。一方、北信地域では4年程度ごとに想定がない震度5強以上の中小地震が起きており、実際に被害も出ています。本講演では、最新の地震動予測システムを用いて、断層帯の内部で起こる中小地震(M6クラス)の区間別地震危険度を算出した結果を紹介するとともに、地震動分布の計算方法や人口分布に基づく地域別危険度の判定方法について説明し、地盤情報の収集が地震動予測のために欠かせないことを示します。これらの情報が企業のBCP策定の際の参考になることを期待します。

信州産学官連携機構(SIS)との 産学官交流会

in 松本 2017

日時:平成29年10月12日(木) 12:30～19:00
場所:松本市Mウイング

15:40～16:10

劣駆動系の制御技術に立脚したパーソナルモビリティの開発

諏訪東京理科大学 機械工学科 教授 星野 祐氏

パーソナルモビリティは自律制御技術を積極的に活用した次世代モビリティの一つであり、社会実装を目指して現在いくつかの場所で実証実験が進められています。従来のモビリティとの顕著な違いは運動の自由度がアクチュエータの数よりも多い点であり、このようなシステムはロボット工学分野で劣駆動系と呼ばれています。研究室ではこの数年、フィードバック線形化や近似線形化などの制御技術に基づいて球乗り型のパーソナルモビリティの開発を進めてきました。本講演では、球乗り型モビリティの特徴、開発過程、及び実用化に向けた問題点などについて述べます。

特別講演

16:15～17:20

金属表面処理のリーディングカンパニーを目指して

サン工業株式会社 代表取締役社長 川上 健夫氏

めっきと言うと、「めっきが剥がれる」といったマイナスイメージが先行していますが、製造業にとっては無くてはならないサポートインダストリーとしての大切な役割を担っています。一介の小さなめっき屋が60有余年かけて営んで来た結果、昨年グッドカンパニー大賞をいただける会社になりました。本講演では、弊社の経営ポリシーならびに弊社技術の特徴を簡単にご紹介するとともに、悪戦苦闘しながら、かつ、持てる力を見極めながら、誇りを持ち、日本の製造業を支えていく責務を果たしていこうとしている姿を少しでもお伝え出来ればと思っています。

パネル・製品展示コーナー (企業)

12:30～13:10 ポスターセッション 企業と技術の紹介 および 14:30～15:00 企業プレゼン

①株式会社マスターマインド (塩尻市)

▶▶▶ 食品に印刷できるフードプリンタなど、特殊フラットベットインクジェットプリンタの開発、販売

②株式会社情報戦略研究所(松本市)

▶▶▶ ソフトウェア開発、ホームページ製作、ネットワーク構築・運用、求人情報サイト等、企業のIT業務基盤支援

③株式会社ワカ製作所 (東京都、麻績村、安曇野市)

▶▶▶ 高周波コネクタ・ケーブル・コンポーネント、ソーラー充電モジュール製造のJAXA認定メーカー

④株式会社デリカ(松本市)

▶▶▶ 生産性アップと省力化に貢献する農業用作業機を、開発から販売まで一貫して手掛ける専門メーカー